

平成 26 年度第 3 回庄原市初任者研修会

平成 26 年 8 月 21 日（木） 庄原市比和自治振興センター 2 階大会議室 比和自然科学博物館

庄原市における教育課題を踏まえ、さらなる改善を行うため、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うことを目的に、研修会を行いました。（参加者：小学校教諭 6 名，中学校教諭 1 名，栄養職員 1 名）

【講話①】 講話・演習① 「教材研究の方法と進め方」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 松田 千秋

【概要】

- ・教材研究は、授業づくりにとって最も重要な「準備」である。
- ・学習指導要領のどの項目・内容を踏まえているか明確にする。
- ・教材研究のポイントとしては、本教材の特質、既習の学習内容、内容の系統性、指導内容及び指導方法の工夫、指導時間や指導の順序、評価、つまずきのある児童生徒への手立て等について明らかにする。



（参加者の振り返りより）

- ◆学習内容の系統性を理解したうえで教材研究を行っていく。また、計画的に資料収集を行い、子供の実態に応じた指導法を考えるべきである。
- ◆単元の中で児童に付けたい力を明確にし、1時間の授業の構想を立てていこうと思った。また、児童の意欲が高まるような活動を取り入れていきたい。
- ◆本時の学習の目標や方法を子供たちに明確にすることで、子供の意欲を高め、学習を充実させることができる。
- ◆これまでの教材研究では、様々な資料を参考にして指導したいことが多くなっていたが、指導内容を焦点化していく大切さが改めて分かった。

【講話②】 講話・演習② 「公務員としての在り方」

庄原市教育委員会教育指導課長 中重 秋登

【概要】

- ・教育公務員として求められる教職員像と期待される役割について、「新しく教職員となるみなさんへ」を資料に確認をした。
- ・公務員及び教育公務員である根拠法令や児童生徒への懲戒及び体罰について、演習を通して理解を深めた。参加者は、教育小六法を引くとともに説明を受け、教育公務員であることの自覚を深めた。



（参加者の振り返りより）

- ◆法令を読んだり事例を聞いたりする中で、教育公務員としての在り方について再確認でき、身が引き締まる思いがした。
- ◆公務員として学校の内外でふさわしい行動を心がける。また、体罰の定義について学び、いけないことはいけないと毅然と指導することが大切である。
- ◆具体的な問題演習や講話を通して、自らの立場を再認識でき、特殊な職であることを改めて感じた。教育公務員としての心構えを常にもって行動したい。
- ◆公務員としての根拠となる法令を学ぶことができ、教育公務員としての責任を再確認できた。今後も自覚して、日々の仕事や生活をしていきたい。

【講話・演習③】 講話・演習③「比和自然科学博物館見学・実習」

比和自然科学博物館長 進藤 眞基

【概要】

- ・「樹木検索」のワークショップを通して、事物をじっくりと観察し特徴を分類していく自然科学を体験した。館長の話し方や題材の提示から対象者の意欲を引き出すコツを学ぶことができた。
- ・ワークショップや博物館見学を通して、庄原市の豊かな自然について触れた。



(参加者の振り返りより)

- ◆様々な生物の標本を見ることができた。標本を見ること自体初めての体験だったので新鮮だった。
- ◆私たちの住む庄原に、とても素敵な自然博物館があることを多くの人に知っていただきたいと思った。
- ◆「樹木の検索表」を遣った演習は、植物の葉の特徴がよく分かり、興味深いものだった。
- ◆館長の話し方や子供を引きつけるコツなどは、普段の学習指導の参考にしたい。
- ◆樹木検索や博物館見学を通して、実物教材の効果を実感した。生徒に提示する資料において、より興味・関心を引くような教材を研究していきたい。

【講話・演習④】 講話・演習④「生徒指導の充実」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 高見 省吾

【概要】

- ・教職員は、すべての児童生徒の自発的・主体的な成長・発達の促進や支援を行うために、学校が提供すべき機会や場について理解すること等、生徒指導の役割と重要性について学んだ。
- ・いじめの問題に取り組むためには、いじめへの正しい認識をもつこと、被害者の心理に寄り添うこと、そして組織的に対応することが重要である。



(参加者の振り返りより)

- ◆いじめを防ぐためには、子供たちが日々目標をもち、その実現に向けて取り組めるような環境をつくっていくことが大切である。
- ◆講話・演習の中で、自分を振り返ってみて、「いじめかどうかの基準」が不十分だったことを痛感した。
- ◆いじめは、人間関係を気にして被害者が相談しにくい内容であるため、日頃から子供たちの様子を知り、変化に気付くことが大切だと思った。また、早期対応の重要性について理解することができた。
- ◆生徒指導において、事実だけではなく、その背景も捉えることや客観的に見る必要があると分かった。そのために、多くの事例に触れることや教職員間での報告、連絡、相談が必要であると感じた。